



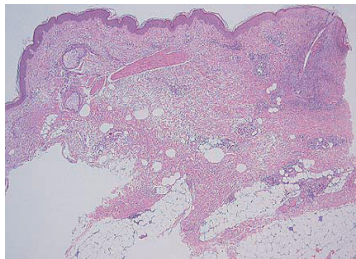
Herpes viral infection, follicular type

74才、男性

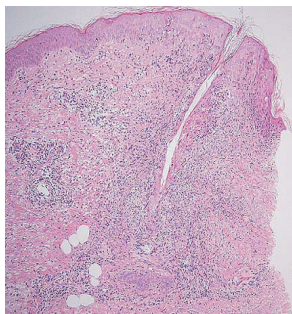
生検部位：記載なし□

臨床診断：necrotic erythema or malignant lymphoma

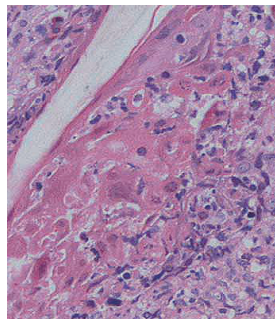
病理診断：Herpes viral infection, follicular type



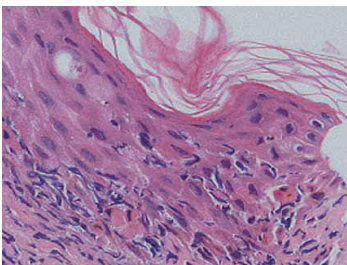
採取部位の記載はないが、毛包が存在する部位であることがわかる。毛包周囲から真皮深層にかけて炎症性細胞浸潤が認められる。



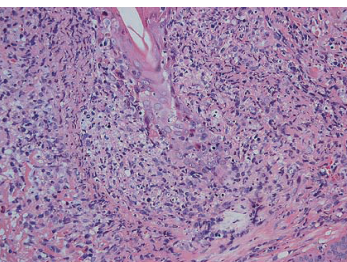
毛包・表皮は炎症により破壊されている。



毛包漏斗部に棘融解した上皮細胞や、細胞質が腫大し核が壊死に陥った細胞がある。一部の細胞は核が均一に hyperchromatic に染まる。



表皮にも壊死して好酸性を呈する上皮細胞が認められる。



浸潤細胞はリンパ球が主体で、核の破砕像も多数認められる。

セミナー開催のお知らせ



皮膚病理指導医養成講座（年6回連続講座 東京）

研修医を指導するために必要な皮膚病理学

第5回目 12月 11日（土）：腫瘍性皮膚疾患 2

第6回目 2月 5日（土）：腫瘍性皮膚疾患 3

いずれも 9時～17時

会場：山王病院 山王ホール（東京都港区）

ただいま、参加お申し込み受付中です。
ホームページ、E-mail、ファックスにてお申し込み下さい

★ ☆ お 知 ら せ ☆ ★

電子カルテなどにお役立ていただけるよう、
病理報告書に添付している標本写真をデジタル画像でお送りすることもできます。
ご希望の方は当研究所までお知らせください。

毎月皆様にお届けしておりますNEWSは、
ホームページでもご覧いただくことができます。
ぜひご利用ください。

新たに論文が掲載されました

木村 鉄宣
皮膚病理コンサルテーションシステム

病理と臨床
Vol.22, No.11 1151-1157

* 抜粋しまして、裏面に掲載しております。
ぜひご覧ください。

～各種お申込・お問い合わせは当研究所まで～

札幌皮膚病理研究所
〒001-0018

札幌市北区北18条西3丁目2-21

TEL 011-756-4810 FAX 011-756-4842

E-mail office@sapporo-dermpath.com

Website www.sapporo-dermpath.com

札幌 皮膚病理 研究所 NEWS



2004年12月号

What's new?

第4回皮膚病理指導医養成講座 (2004,10,23)

山王病院 山王ホールにて



第12回札幌皮膚病理セミナー (2004,10,29,30,31)

慶應義塾大学 東校舎講堂にて

University of California, San Francisco Dermatopathology Sectionから Philip E. LeBoit先生を招き、第12回札幌皮膚病理セミナーを開催致しました。

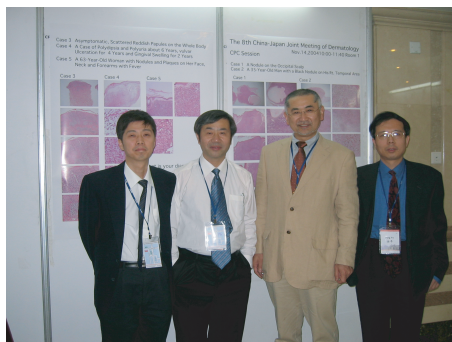


第8回日中合同皮膚科学会 (2004,11,12,13)

中国の昆明にて開催されました第8回日中合同皮膚科学会CPCには、中国側からの座長としてDr.Sun Jingang (写真下、左側から二番目)が、日本側からの座長として木村が参加致しました。



左側 : Dr.Yuehug Liu
左側から二番目 :
Dr.Sun Jingang
右側 : Dr.Ping Tu



今後のスケジュール

2004,11,23

セミナー：皮膚外科手術のための皮膚腫瘍病理学講座
場 所：札幌皮膚病理研究所

2004,11,25

講演：第13回形態免疫研究会
場 所：九州大学

2004,12,4

講演：IAP日本支部主催スライドセミナー
場 所：名古屋市立大学医学部

2004,12,11

セミナー：第5回皮膚病理指導医養成講座
場 所：山王病院 山王ホール

2004,12,16

勉強会：皮膚をみる会
場 所：札幌皮膚病理研究所

皮膚病理コンサルテーションシステム

～コンサルテーションの実績～

2001年5月開業から2004年5月までの実績を紹介する。

1 依頼者の内訳 (表1)

コンサルテーション例全454件を依頼者の種類で分類する。病理医からの依頼が66件(14.5%)そして臨床医は371件(81.8%)であった。臨床医は皮膚科医が344件(75.8%)、皮膚科以外が27件(6.0%)であった。民間検査会社からは16件(3.5%)そして患者および家族からの依頼が1件(0.2%)あった。

2 支払者の内訳 (表2)

コンサルテーションの報酬と費用の支払者は全454件のうち、病院など医療機関が301件(66.3%)、担当医が123件(27.1%)、検査会社が15件(3.3%)、そして患者が15件(3.3%)であった。

表1 コンサルテーション依頼者の種類と件数

依頼者	2001年	2002年	2003年	2004年	合計
病理医	2	13	23	28	66
皮膚科医	50	97	142	55	344
その他	0	8	16	3	27
検査会社	3	3	8	2	16
患者	0	0	1	0	1
合計	55	121	190	88	454

表2 コンサルテーション費用の支払者の種類と件数

支払者	2001年	2002年	2003年	2004年	合計
病院	24	77	136	64	301
担当医	27	39	36	21	123
検査会社	3	3	7	2	15
患者	1	2	11	1	15
合計	55	121	190	88	454

病理と臨床 Vol22 No11

「皮膚病理コンサルテーションシステム」より抜粋

当研究所へのコンサルテーションご希望の方は、セカンドオピニオン申込書に必要事項を記入し、標本および患者情報などを添えて当研究所へお送りください。
なお、セカンドオピニオン申込書はホームページよりダウンロードすることができます。
ぜひご利用くださいませ。